

# 日本筆記具工業会ニュース

JWIMA (Japan Writing Instruments Manufacturers Association)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-30-6

TEL(03)3891-6161 FAX(03)3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 2002.4.1/002号

## 新事業年度に向けて 委員会・部会が発足しました

本工業会に寄せる会員のご意見と期待をヒヤリングした「工業会の運営に関する会員アンケート」の集計報告(13年12月版)を元に、これを4月からスタートする本格事業年度の事業計画に反映するため、5つの委員会と部会はこれらの検討に入りました。この「活動計画(案)」を4月16日に開催する理事会に諮り、5月13日開催の「第1回通常総会」でご審議いただいた上で、本工業会の新年度の事業計画が決定します。これまで5委員会及び部会が開催した計16回、延べ約224名出席の会議は次の通りでした。ご多忙なおり、多数の皆様の意欲的なご参加に感謝申し上げます。

### <<委員会>>

#### 総務委員会(高橋清委員長) 委員9名

第1回 (2.6) ○副委員長に高橋泰昭氏(株)パイオニア)を選出。○工業会の年間スケジュール等の検討。

第2回 (3.15) ○平成14年度の活動計画(案)を作成。

#### 流通委員会(池野昌一委員長) 委員15名

第1回 (2.6) ○返品問題、協賛金、コンシューマ(主に商品クレーム)等への対応を検討。○コンシューマ対応として「お客様相談窓口責任者情報交換会」(部会)を招集することを決定。

第2回 (3.15) ○平成14年度の活動計画(案)を作成。

#### お客様相談窓口責任者情報交換部会 部会員15名

第1回 (3.7) ○部会長に内藤親彦氏(株)パイロット), 副部会長に神田勇氏(ペンてる(株))を選出。○各社の対応等の情報交換を行い、今後、マニュアル等の作成を検討。

### 《JWIMA第1回通常総会開催のお知らせ》

日時 平成14年5月13日(月) 17時より

会場 上野精養軒

議案 (1)平成13年度の事業報告及び収支決算報告について(2)平成14年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について(3)その他/懇親会(総会終了後より)

※総会ご案内状は、後日お送りします。

#### 調査研究・広報委員会(石川真一委員長)委員11名

第1回 (2.22) ○副委員長に比留間肱一氏(ゼブラ(株))を選出。○現在実施している広報活動及び今後の新たな活動について検討。

第2回 (3.28) ○平成14年度の活動計画(案)を作成。

#### 技術委員会(西村貞一委員長)委員24名

第1回 (2.22) ○副委員長に西本洋二氏(三菱鉛筆(株))を選出。○各部会の検討内容の報告。○模倣品問題、JIS・ISO関連、グリーン購入法等について検討。

第2回 (4.4) ○平成14年度の活動計画(案)を作成予定。

#### 国際委員会(小川洋平委員長)委員15名

第1回 (2.13) ○副委員長に伊藤眞吉氏(株)トンボ鉛筆)を選出。○中国WTO加盟による今後の日本市場への影響及び模倣品対策等について検討。

第2回 (4.9) ○平成14年度の活動計画(案)を作成予定。

### <<部会>>

技術委員会内に設置された7つの部会は、2月18日から検討会を実施しました。製品別JIS/ISO部会は規格改正等の経緯及び今後の活動について検討しました。

つづく➤

## 2001年【年間】<sup>2001</sup><sub>1-12</sub> の出荷・輸出・輸入

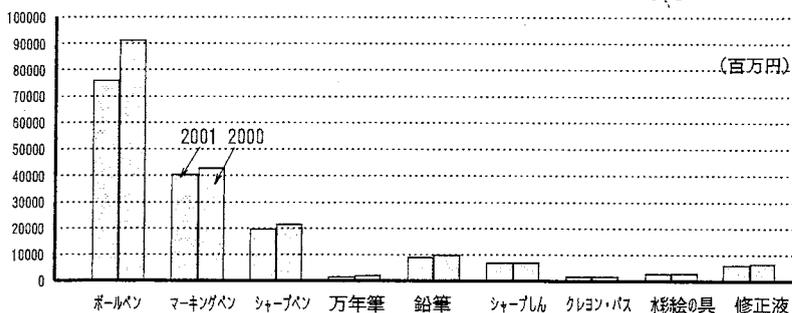
雑貨統計 (国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額は百万円)

出荷	単位	2001年・年間		2000年・年間		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	1,530,584	76,077	1,889,031	91,221	Δ 19.0	Δ 16.6
マーキングペン	千本	751,970	40,571	801,615	42,997	Δ 6.2	Δ 5.6
シャープ	千本	287,368	19,810	321,052	21,590	Δ 10.5	Δ 8.2
万年筆	千本	1,794	1,665	2,309	2,160	Δ 22.3	Δ 22.9
鉛筆	G	2,779,782	9,201	2,967,735	10,047	Δ 6.3	Δ 8.4
シャープしん	千本	3,820,390	7,069	4,020,276	7,189	Δ 5.0	Δ 1.7
クレヨン・パス	千本	128,376	1,873	134,260	1,922	Δ 4.4	Δ 2.5
水彩絵の具	千本	70,278	2,942	76,808	3,168	Δ 8.5	Δ 7.1
修正液	千本	62,285	6,185	69,018	6,783	Δ 9.8	Δ 8.8
合計金額			165,393		187,077		Δ 11.6

Gはグロス(144本) 2001年の数量・金額は年報等と若干異なる場合があります。

雑貨統計出荷金額に見る  
品目別実績と前年実績比  
【年間】



日本貿易統計

(金額は百万円)

輸出	単位	2001年・年間		2000年・年間		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	1,077,865	45,266	1,450,501	57,352	Δ 25.7	Δ 21.1
マーキングペン	千本	314,159	13,819	357,912	15,189	Δ 12.2	Δ 9.0
シャープ	千本	193,878	9,546	225,688	11,075	Δ 14.1	Δ 13.8
万年筆	千本	4,997	610	7,064	860	Δ 29.3	Δ 29.1
以上のセット品	千S	980	157	1,261	203	Δ 22.3	Δ 22.7
鉛筆	G	275,413	439	588,770	470	Δ 53.2	Δ 6.6
シャープ用しん(鉛筆しんを含む)	kg	538,573	3,642	535,711	3,405	0.5	7.0
クレヨン	kg	37,605	110	33,816	95	11.2	15.8
ボールペン用中芯	千本	209,536	2,987	198,592	2,786	5.5	7.2
マーキングペン用ペン先及びニブポイント	千本	3,667,421	5,968	3,615,142	6,152	1.4	Δ 3.0
シャープ部品・付属品	kg	195,251	1,037	209,493	1,216	Δ 6.8	Δ 14.7
万年筆及びボールペンの部分品	kg	1,050,388	3,758	1,269,655	4,478	Δ 17.3	Δ 16.1
合計金額			87,339		103,281		Δ 15.4

Gはグロス(144本)

日本貿易統計

(金額は百万円)

輸入	単位	2001年・年間		2000年・年間		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	162,307	5,906	113,629	5,022	42.8	17.6
マーキングペン	千本	190,804	2,253	188,334	2,146	1.3	5.0
シャープ	千本	27,957	1,162	48,728	1,435	Δ 42.6	Δ 19.0
万年筆	千本	925	1,160	1,340	1,187	Δ 31.0	Δ 2.3
セット品	千S	2,067	215	988	83	109.2	159.0
鉛筆	kg	1,274,601	1,125	1,099,281	1,028	15.9	9.4
しん	kg	152,186	272	90,362	130	68.4	109.2
パステル、チョーク	kg	1,173,853	600	1,130,037	585	3.9	2.6
ボールペン用中しん	千本	29,014	322	26,309	307	10.3	4.9
ペン先及びニブポイント	千本	148,416	211	162,925	182	Δ 8.9	15.9
ボールペン又はシャープの部品及び付属品	kg	516,876	1,589	717,465	1,960	Δ 28.0	Δ 18.9
ペン軸、その他部分品	kg	95,770	258	136,347	318	Δ 29.8	Δ 18.9
合計金額			15,073		14,383		4.8

## 2001年10月～12月の出荷・輸出・輸入

雑貨統計（国内向け販売と輸出向け販売を含む）

（金額は百万円）

出荷	単位	2001年10-12月度		2000年10-12月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	363,966	18,449	399,783	20,199	△ 9.0	△ 9.0
マーキングペン	千本	193,267	11,014	207,703	11,636	△ 7.0	△ 5.3
シャープ	千本	56,417	4,158	69,855	5,101	△ 19.2	△ 18.5
万年筆	千本	409	395	522	535	△ 21.6	△ 26.2
鉛筆	G	873,536	2,844	943,667	3,167	△ 7.4	△ 10.2
シャープしん	千本	873,372	1,623	955,347	1,803	△ 8.6	△ 10.0
クレヨン・パス	千本	31,923	472	33,273	466	△ 4.1	1.3
水彩絵の具	千本	13,263	532	13,953	580	△ 4.9	△ 8.3
修正液	千本	14,906	1,476	17,793	1,737	△ 16.2	△ 15.0
合計金額			40,963		45,224		△ 9.4

Gはグロス（144本） 2001年の数量・金額は年報等と若干異なる場合があります。

◎2001年第4四半期（10～12月）の出荷合計は410億円で、前年同期比9.4%減だった。同年第1～3四半期を通じて前年比2桁減だったことから、第4四半期はこれを押し返す結果になったが、最大の需要期だけに予断を許さない。輸出は、クレヨンを除くほぼすべての品目で数量・金額共減少させた。鉛筆は数量で半減した一方、金額は微増だった。国産低価格鉛筆が国際市場で苦戦している様子がうかがえた。輸入は第4四半期でわずかながらマイナスになった。

◎品目別に見ると、2大品目のボールペンとマーキングの出荷・輸出の減速が第4四半期はやや緩和したが、輸入は堅調で市場開放がさらに進んだ。国産対輸入品の単価を比較するとボールペンは¥50 vs ¥34、マーキング¥57 vs ¥12となった。修正液はこの期に金額数量共に大きく後退したことが懸念材料。

◎完成品の出荷から輸出を除き、輸入を加えた「国内消費力推定」（10-12月）は「マイナス1.4%（前年同期比）」で、前期（-8%）より大幅に回復した。

## 日本貿易統計

（金額は百万円）

輸出	単位	2001年10-12月度		2000年10-12月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	252,446	10,907	291,302	11,678	△ 13.3	△ 6.6
マーキングペン	千本	74,793	3,349	83,823	3,519	△ 10.8	△ 4.8
シャープ	千本	37,507	1,906	50,047	2,644	△ 25.1	△ 27.9
万年筆	千本	1,166	144	1,411	156	△ 17.4	△ 7.7
以上のセット品	千S	204	58	274	43	△ 25.5	34.9
鉛筆	G	48,082	108	102,507	104	△ 53.1	3.8
シャープ用しん（鉛筆しんを含む）	kg	132,528	851	134,857	885	△ 1.7	△ 3.8
クレヨン	kg	13,857	34	9,792	26	41.5	30.8
ボールペン用中しん	千本	54,422	566	58,456	724	△ 6.9	△ 21.8
マーキングペン用ペン先及びニブポイント	千本	825,929	1,216	896,246	1,581	△ 7.8	△ 23.1
シャープ部品・付属品	kg	27,792	176	59,221	296	△ 53.1	△ 40.5
万年筆及びボールペンの部分品	kg	267,008	944	314,346	1,012	△ 15.1	△ 6.7
合計金額			20,259		22,668		△ 10.6

Gはグロス（144本）

## 日本貿易統計

（金額は百万円）

輸入	単位	2001年10-12月度		2000年10-12月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	41,647	1,415	34,492	1,595	20.7	△ 11.3
マーキングペン	千本	54,015	620	52,987	584	1.9	6.2
シャープ	千本	7,700	327	12,368	356	△ 37.7	△ 8.1
万年筆	千本	197	353	540	389	△ 63.5	△ 9.3
セット品	千S	644	107	466	36	38.2	197.2
鉛筆	kg	378,184	273	397,392	304	△ 4.8	△ 10.2
しん		57,483	152	21,945	34	161.9	347.1
パステル、チョーク	kg	399,134	207	362,531	173	10.1	19.7
ボールペン用中しん	千本	7,269	85	7,886	85	△ 7.8	0.0
ペン先及びニブポイント	千本	31,970	46	49,583	54	△ 35.5	△ 14.8
ボールペン又はシャープの部品及び付属品	kg	114,650	429	149,730	413	△ 23.4	3.9
ペン軸、その他部分品	kg	24,790	52	40,609	86	△ 39.0	△ 39.5
合計金額			4,066		4,109		△ 1.0

**万年筆JIS/ISO部会** 部会員5名

シャープペンシル及びシャープ用しんJIS/ISO部  
会合同会議 部会員12名 (2.8)

○部会長に西本洋二氏(三菱鉛筆(株)), 副会長に  
中西正行氏(パイロットプレジジョン(株))を選出。

**ボールペンJIS/ISO部会** 部会員13名 (2.8)

○部会長に西本洋二氏(三菱鉛筆(株)), 副会長に  
川合敬義氏(株)トンボ鉛筆)を選出。

**マーキングペンJIS/ISO部会** 部会員12名 (2.8)

○部会長に長島功典氏(ぺんてる(株))を選出。

**事務用修正液JIS/ISO部会** 部会員10名 (2.8)

○部会長に高根沢光男氏(ぺんてる(株))を選出。

**鉛筆及びそのしんJIS/ISO部会** 部会員11名(3.8)

○部会長に西本洋二氏(三菱鉛筆(株)), 副会長に  
加藤善三郎氏(株)トンボ鉛筆)を選出。

☆

**第1回知的財産部会** 部会員14名 (2.18)

○部会長に長岡隆一郎氏(株)サクラクレパス), 副  
部会長に牧満夫氏(株)トンボ鉛筆)を選出。○模倣  
品対策について検討。

**第2回知的財産部会** (3.20)

○今後の活動計画等について検討。

**第3回知的財産部会** (4.5)

○今後の活動計画等について継続検討。

(委員会、部会の詳細は本工業会事務局までお問い合わせく  
ださい)

グリーン購入法の特定調達品目に  
新たに品目が追加されました

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法  
律、通称「グリーン購入法」で定める特定調達品  
目に、新たに品目が加わることが2月15日の閣議  
で決定しました。紙・文具類のほか、LPガス自  
動車、再生プラスチック含有率が高いふとん・ベ  
ッド、生ごみ処理機、高炉スラグなど、計50品目  
が追加されました。尚、文具類に係る「判断の基  
準」、「配慮事項」の見直しはありませんでした。

## 追加された品目

<文具類>回転ゴム印, ステープラー針リムーバー, 粘着  
テープ(布粘着), ペンスタンド, クリップケース, 紙め  
くりクリーム, OAフィルター, カuttingマット, デ  
スクマット, 絵筆, アルバム, つづりひも, タックラベ  
ル, 黒板拭き, ホワイトボード用イレイサー, 額縁, 缶・  
ボトルつぶし機, 名札,

<紙類>インクジェットカラープリンター用塗工紙, OC  
R用紙, ジアゾ感光紙, 印刷用紙(カラー用紙), ティ  
ッシュペーパー,

<他の事業分野>機器類, OA機器, 自動車, インテリア  
・寝装寝具, 設備, 生ごみ処理機, 公共工事, 役務(印  
刷, 食堂等)も追加されました。

中小企業信用保険法の規定に基づく  
「特定業種」の指定を受けました

万年筆, シャープペンシル, ペン先, ボールペ  
ン, マーキングペンの製造業はことし3月29日付  
経済産業省告示第155号で平成14年4月1日~同  
年6月30日まで中小企業信用保険法第2条第3項  
第5号に係る「特定業種」の指定を受けました。  
鉛筆製造業も前期に引き続き指定を受けました。

「特定業種」の指定とは—主要な原材料等の著  
しい減少, 需要の著しい減少等が生じていること  
によって, この事業を行う中小企業者の事業活動  
に著しい支障を生じている業種について, 中小企  
業信用保険法第2条第3項第5号の規定に基づい  
て「特定業種」として指定されます。指定された  
業種の中小企業は, 手続きを踏まえて, 金融機関  
から借入をする際に信用保証協会の「特例保証」  
を受けられます。特例保証を含む保険限度額は,  
普通保険4億円, 無担保保険1億6千万円, 特別  
小口保険2,500万円です。(詳しくは本工業会事  
務局までお問い合わせください)

売掛債権担保融資保証制度が創設されました

売掛金を担保として融資をおおぐことができる新  
しい中小企業支援制度が創設されました。これま  
で担保は土地等のストックに限られていましたが,  
経済産業省の努力によって, 売掛金というフ  
ローに担保力を持たせ, 最大1億1100万円まで円  
滑に金融機関から融資を受けられる途が開かれま  
した。受付は昨年末から始まっています。

## &lt;主な仕組み&gt;

中小企業者は, 自ら保有する売掛債権を担保とし  
て金融機関から借入れを行う際に, 信用保証協会  
に本制度に基づく保証の申込みをします。保証が  
行われた場合, 中小企業者が万一, 借入金を返済  
できないときは信用保証協会が金融機関に貸付残  
高の9割を代位弁済するとともに, 金融機関及び  
信用保証協会は売掛債権から回収を行います。利  
用対象者は, 中小企業者(製造業では資本金3億  
円以下の会社等)であれば, 基本的に業種に関わ  
りなく利用できます。実際の融資内容は, この制  
度で設定可能な借入限度額は1億1100万円です。  
融資希望額, 売掛債権の状況等により中小企業者  
ごとに借入限度額が設定され, その範囲内で1年  
間反復して融資を受けることが可能です。(詳しく  
は本工業会事務局までお問い合わせください)